



13
2946
125



125
へ13
2946
125

茶之味は
新茶の味

先茶盡押兵序

集巻雨



上
文とて蚊の聲も思ひ武も思ひ湯の中も
辰と夜も物も文武久茶公も
かゝるや町新町おきまわらた刀喜代
治不
御代の太平樂先茶公地
文多あをいし程押乃は
の行燈賽灯
極之の需も應

未ぬる川春

曲亭馬琴撰



○まがらと大王

くまの
くまの
くまの
くまの
くまの
くまの
くまの
くまの
くまの
くまの

あふらと
ものくんと
さうけあひ
ひふせうの
秀ひくと
このそわり
のちひあそ
まうりつつけ
まがらと大王
とあつめし
あそ人の
らるるとちあ

とくあまの
まがらと
さんさん
あつめし
あそ人の
らるるとちあ

あつめし
あそ人の
らるるとちあ



あつめし
あそ人の
らるるとちあ

あつめし
あそ人の
らるるとちあ

○借りのかり
○おちめのきり

まやぶのかりさ
のりのきりのきり
のきりのきり
いと月しりりきり
のりーきり
のかりにせきり
られきり
きりまきりと
かめのかく
おちめのきり
かりてきり
きりとせり
うーりりり
きりひりり
大せんわ
きりり

いんくわちと
うせとうーりの
うんからりーり
あれきり
のりてきり

くまきり
きりりりり
きりりりり
きりりりり
きりりりり

まきのり
おちめのきり
おちすきり
人ときり
ふきり
おちめのきり
おちめのきり
おちめのきり



おちめのきり
おちめのきり
おちめのきり

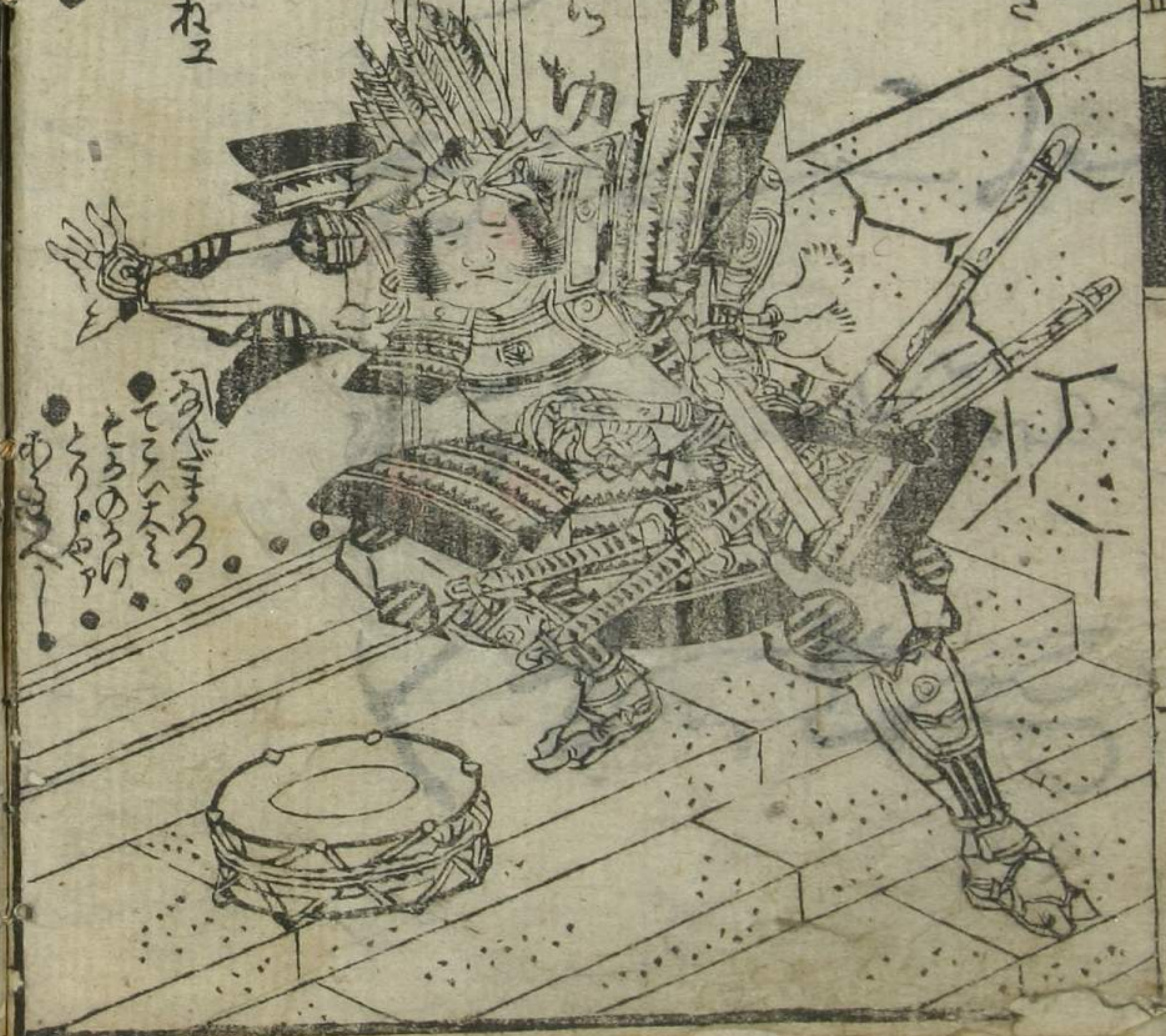
○仇多さんんちの
あつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

火之用
踏次四の切

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち



○外の女郎さけ成

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち



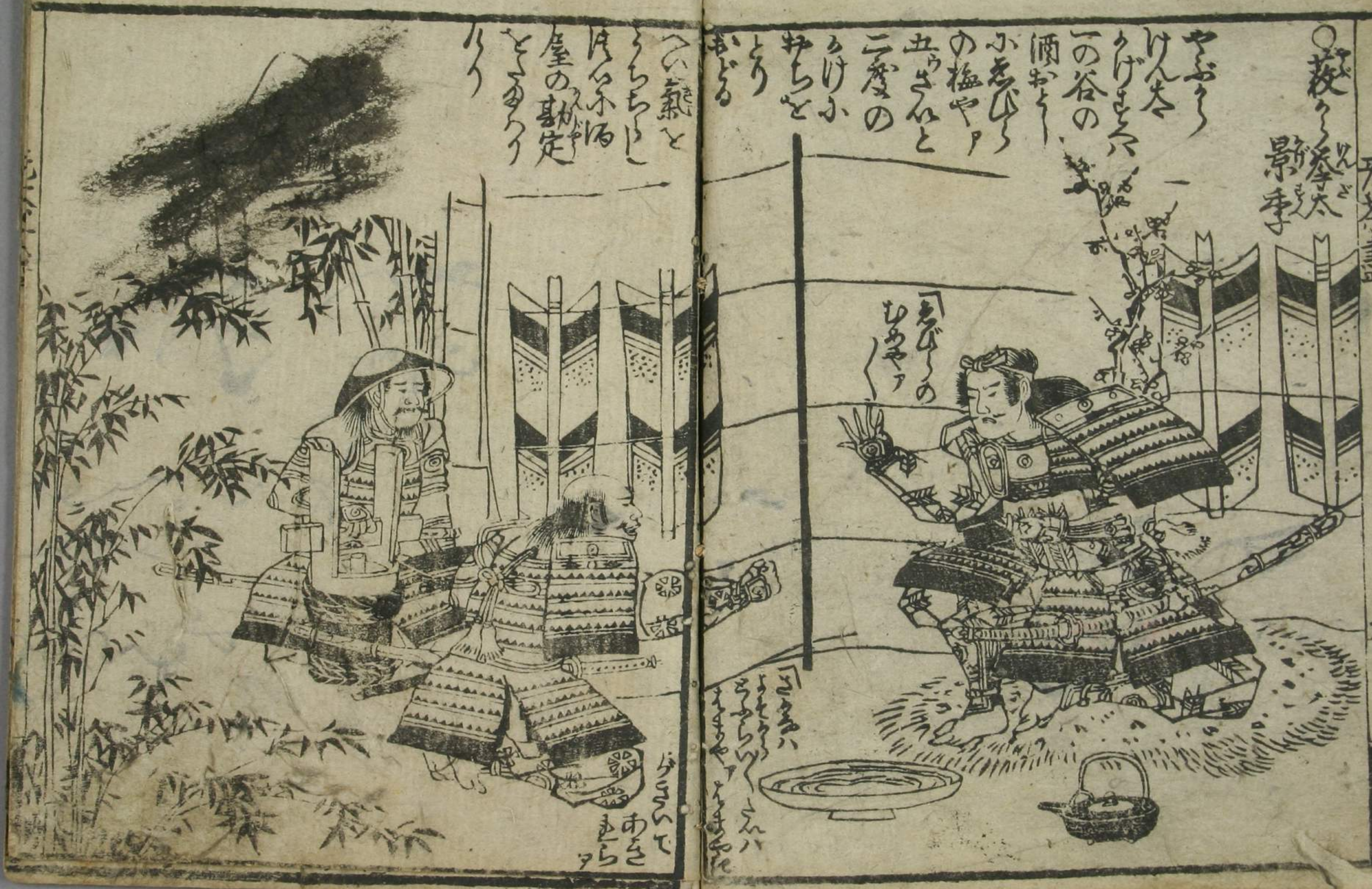
元本集

○夜々
影季

やぶく
けん太
くげと六
一の谷の
傾おと
小おひら
の梅やア
五うさねと
二度の
くけふ
おらと
おらと
おらと

おらと
おらと

おらと
おらと
おらと
おらと
おらと
おらと
おらと
おらと
おらと
おらと



この氣と
くららじ
片の酒
屋の勘定
とらとら
らら

あさ
あさ
あさ

○高の白此高細

あめ
青梅もえんえの
百姓さげの

白うり
白うり

しらんか

おら成り

おら成り

おら成り



おら成り

おら成り
そのひす小つ
まげハのうら
うら

おら成り
おら成り
おら成り
おら成り



○葛原えん正成

くどゆら
くふと降らん元
正成も子おん
あまき軟ふ
てきかこ川の
せんやうより
ちやく子西初
どうと
これまろ

Langensdorfer Hand
Sachverständigen
Karl Schenk



いひやうのい
おまはゆら
あまきどう
ひやうま
のあま
いひ
あま
とつて
あま

根元葛原



えん正成



いさめ
めい
りあえ
のさ
さうふ
こぶ
らん
せん
せん
の
の
の

馬琴殿作

Langensdorfer
Sachverständigen
Karl Schenk

戌

己未春仙鶴堂藏版目錄 作者 山東 曲亭 兩先生

京傳主十六利鑑 京傳作 三冊

彼岸槎勝花談義 馬琴作 三冊

五體和合歌 同作 三冊

料理茶話即席記 同作 三冊

忠臣水滸傳 京傳主人作 全部五卷 出来

元茶尽押兵 同作 三冊

繪本大枝山物語 北尾紅翠齋老人画 上紙搨袋入 全部三冊 出来

鯨魚尺品草羽織 同作 三冊 高田 通油町 仙鶴堂 行る心喜右工門

いん

